

Shirane Spirit

挑戦

一人一人の進路実現に向けた、きめ細かい指導。
部活動や奉仕活動への参加を通じて、豊かな人間性を育成。
地域社会に信頼される学校づくり。
それが白根高校のスピリットです。

Vol. **51**
第51号
Oct. 2022
白根高校通信

CONTENTS

- P.01 白根祭と部活動特集号
- P.02 第39回白根祭 Teenager—走れ！青春物語—
- P.03 ウェイトリフティング部・野球部紹介
- P.04 体育祭紹介／突撃インタビュー



白根祭と部活動特集号



コロナ禍のもと、それでも自分たちにできることを精いっぱいやりたい。そんな願いを込めた白根祭が、青春物語の新たな1ページを紡ぎだす。



白根っ子

Teenager —走れ！青春物語—



第二十九回白根祭を終えて

生徒会・保健・環境主任
風間功仁子

今年もコロナ禍で迎えた白根祭。生徒会本部は「Teenager一走れ！青春物語」をテーマに掲げた。このテーマに、クラスメイトや友人と協力して何かを成し遂げることに、また10代の今しなやかな思いを込めた。

本年度の白根祭は3年生の力を感ずる学園祭であった。3年生は入学時からコロナの影響を受け、これまで様々なイベントが中止された高校生活を送ってきた。しかし、学園祭のテーマのように、コロナで失った青春を取り返さんばかりに迫力ある演技や完成度の高い展示作品を披露し、その姿に1・2年生は圧倒されて、終了後も「先輩すごかったね。」とため息交じりに語り合っていた。

1日目は桃源文化ホールでの発表であった。舞台での規定は昨年と変わらず1m空けての演技であったが、ダンスや演劇も演出を工夫し、見ごたえのある作品に仕上がっていた。2日目は本校で行われた。S1というパフォーマンス大会はダンス、お笑い、歌、何でもありの競技だが、例年になく充実

ぶりで体育館は爆笑の渦に包まれた。また、復活したPTAおやじ焼きそば、中庭企画のカラオケ大会は学園祭の雰囲気大いに盛り上げてくれた。クラス展示はお化け屋敷が多かったが、楽しませるアイデア満載で充実していた。特に3年生の展示フロアは入場希望者で溢れ、入場待ちの生徒達は展示終了時間が迫っても途切れることはなかった。

学園祭終了後、1年生に「高校の学園祭、結構楽しいですね。」と言われたときには運営側としては嬉しい気持ちになった。白根祭のバトンを下級生に確実に渡し、くれた3年生に感謝したいと思う。



第39回 白根祭

- 主な内容**
- 1日目(桃源文化ホール)
 - 吹奏楽部・チアリーディング
 - ・演劇部発表
 - 1～3年 クラス舞台発表
 - 1年 合唱
 - 2年 ダンスコンテスト
 - 3年 創作舞台パフォーマンス など

- 2日目(白根高校)
 - オープニング
 - S1(各クラスのパフォーマンス)
 - 文化部と委員会展示・発表
 - (書道部・美術部・写真部・自然科学部・華道部
 - ・茶道部・図書委員会)
 - 1～3年 クラス展示
 - 1年 テーマ:トトロ
 - 2年 テーマ:マイクラフト
 - 3年 テーマ:世界の名作
 - 有志カラオケ大会
 - PTAオヤジ焼きそば



Teenager 一走れ！青春物語



「一走れ！青春物語」

生徒会長 中村 星那

「Teenager一走れ！青春物語」この白根祭は、白根高校の皆さんにとって、思い出しのページになったのではないのでしょうか。

今年度はコロナ以前の白根祭に戻ってきたような感じがしました。一年生の合唱、二年生のダンス、三年生の舞台発表、どれも完成度が高く、感動的なものでした。また三年ぶりのオヤジ焼きそばも大盛況でした。全校生徒一人ひとりが笑顔で、とても楽しそう、私自身も嬉しかったです。コロナ禍で制約は多い中でしたが、一人ひとりがルールを守り、工夫してくれただけで、より良い白根祭となりました。本当にありがとうございます。

この白根祭を、生徒会本部役員をはじめ、先生方や全校生徒の皆さんと一緒に作れたことは、私自身の誇りであり、宝です。この白根祭が皆さんにとって人生の一ページとして残ってくれたらとても嬉しいです。この青春物語を来年に繋げてほしいです。



白根祭を終えて

実行委員長 穴水 隼磨

今年度の白根祭も、コロナ禍という中で開催でしたが、全校生徒一人ひとりが最高の白根祭を創り上げるために努力してきました。様々なことに挑戦する姿は、青春の1ページに残るものになったと思います。

1日目は桃源文化ホールでの舞台発表でした。1年生は、感染症対策をしながら合唱を発表しました。高校生活初めの合唱で緊張したと思いましたが、どのクラスも完成度が高く素晴らしい発表でした。二年生のダンス発表は衣装などにもこだわりが感じられ、幅広いジャンルの曲を、それぞれのクラスらしさを全開にして踊っていました。観客はペンライトを振るなど工夫して盛り上がっていました。三年生の劇は、クオリティの高い作品が多く、衣装や小道具などにも手が込んでいました。思わず見入ってしまうような、素敵な発表ばかりでした。

2日目は、クラスごとに各学年のテーマに沿った展示を行いました。今年はお化け屋敷が多く、他にも楽しめる企画がたくさんありました。学年関係なく、学校全体で盛り上がるのができました。また、クラスで協力して展示を作りました。クラスごとに、より一層クラスの絆を深めることとなりました。来年度はさらにレベルアップするため、新しいことにもどんどん挑戦していきたく思います。高校生活でしか味わうことができない青春を謳歌し、よりよい白根祭を創り上げてほしいです。



ウエイトリフティング部 望月浩樹選手 インターハイにて全国1位に！！団体でも全国5位入賞！！

令和4年8月5日（金）～8日（月）に愛媛県新居浜市にて行われた、令和4年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会（インターハイ）に3年生4名が出場しました。望月浩樹選手が男子102kg級で優勝（Total 269kg）、男子102kg超級に出場した小林友樹選手も5位入賞（Total 248kg）を果たしました。男子89kg級に出場した金丸幸生選手、男子96kg級に出場した寺田悠人選手も奮戦し、団体としては全国5位入賞を果たしました。

インターハイ優勝を通して

三年 望月 浩樹

8月5日から8日にかけて、愛媛県で行われたインターハイに出場してきました。結果として、個人では優勝、団体では5位に入賞することができました。今まで辛い練習もあきらめずに乗り越えてきた成果が発揮できたのだと思います。記録にのび悩む時期もありましたが、自分がインターハイの舞台で表彰台の一番上に立つことをイメージしながら前向きに練習してきました。

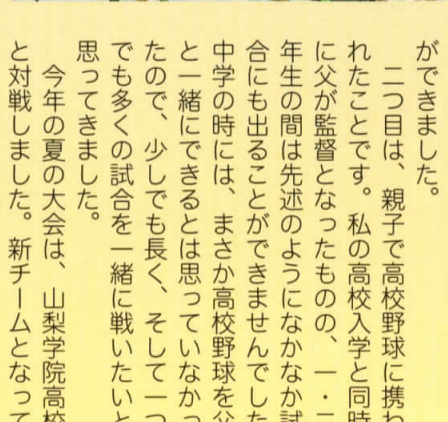
生がサプライズで作ってくれた応援動画を見て、不安だった気持ちもやる気になりました。私が優勝することができたのは、自分一人だけの力ではなく、支えてくださった坂本先生や仲間友達、親、先輩、先生方がいてくれたからこそだと思います。試合が終わると、多くの方から「おめでとう」や「嬉しかった」など言葉を送っていただき、優勝して良かったなと心の底から思いました。今後は国体に向けて練習に励み、そこでも優勝を目指したいと思います。また、大学に行っても競技を続けるので、大学でも上位を目指せるように頑張ります。これからも応援していただけるよう努力していきたいです。



今年度本校野球部は、3年ぶりに単独チームとして夏の大会に出場することができました。選手は3年生2名、1年生11名、主将は3年生の戸栗君です。

高校野球を振り返って

三年 戸栗 瑠也



私はこの二年半白根高校の野球部に所属し、なかなか経験できないようなことを数多く経験することができました。

一つ目は、コロナと部員不足です。私が中学三年生の時に、父が白根高校野球部の外部コーチとなり、チームの現状をよく話してくれました。

私は人数が少なくても純粋に野球を楽しむかと思っていたので、白根高校への進学を決めました。しかし入学と同時にコロナのため自粛期間となってしまう、野球すらできなくなってしまう。二年生になつたときに、新入部員はマネージャー一人だけという状況で、三年生の先輩が引退してしまうと、私と中込君と二人だけの野球部となってしまう。しかし私たちは、次の年に単独チームで試合に出られることを祈りながら、二人で練習を続けてきました。そして今年度、一年生が十一人も入部してくれたので、単独チームで出られる喜びを感じることができました。

ことができました。

二つ目は、親子で高校野球に携われたことです。私の高校入学と同時に父が監督となったものの、一・二年生の間は先述のようになかなか試合にも出ることができませんでした。中学の時には、まさか高校野球を父と一緒にできると思っていなかった。少しでも長く、そして一つでも多くの試合を一緒に戦いたいと思ってきました。

今年の夏の大会は、山梨学院高校と対戦しました。新チームとなつてからの経験も浅く、甲子園に出場するほどの実力をもつ学院高校からは、一点も取るできませんでした。しかし私たちは、強豪チーム相手に試合ができることを嬉しく思いました。自分たちのチームだけでは経験できないようなプレーや野球に対する取り組みを間近で見ることができ、貴重な経験となりました。

私たち三年生が引退したことで、一年生だけのチームとなりましたが、これからも白根高校野球部がより強く、さらに野球を楽しめるチームになってほしいと願っています。



体育祭紹介

9月12日(月)に体育祭が実施されました。感染症対策をしながらも競技に熱中する、生徒たちの「熱い」姿をたくさん見ることができました。



突撃インタビュー!
～白根高が誇る先生～



インタビューを受けてくれたのは「勝木亜希子先生」

今回インタビューをお願いしたのは、今年4月に産休・育休から復帰した勝木亜希子先生です。



自己紹介をお願いします。

国語科の勝木亜希子です。よろしくお願いします。

復帰されて、白根高校の生徒にどんな印象を持ちましたか？

白根高校は優しく明るい生徒が多いと思います。産休に入る前も体調を気遣ってくれる生徒がたくさんいました。また、すれ違う際の元気な挨拶も印象的です。

勝木先生の高校時代について教えてください！

友達とのおしゃべりが何よりも楽しみな高校生活でした。山岳部と書道部に所属し、大会や作品制作に精を出す日々を過ごしました。つらい思いをしながらもゴール(山頂)にたどり着いた時の爽快感はたまりません。アウトドアは現在の趣味のひとつにもなっています。

生徒たちへメッセージをお願いします！

多くの人と出会ってほしいと思います。その出会いが巡り巡って、また新しい出会いや可能性を生むかもしれません。「光陰矢の如し」。あっという間に過ぎゆく「今」を全身で感じながら、高校生活を充実したものにしてください。



Shirane Spirit 挑戦 頑張る白根スピリット

白根高校通信 第51号

発行◎山梨県立白根高等学校 〒400-0211 山梨県南アルプス市上今諏訪1180 TEL.055-284-3031 FAX.055-284-3033

発行日◎令和4年10月1日 編集◎山梨県立白根高等学校 教務部

ホームページ <http://www.shirane-hs.kai.ed.jp/>

